

季節はずれではあるが、夏休みにはビッグとした映画を見にいった。久しぶりに見る子供の映画である。テレビでさかんに宣伝していたが、その時の主役の猫の表情、しぐさがかわいらしく、多くの人をひきつけた。

北海道の大自然、四季おりおりの風物、画面いっぱい躍動する動物たち。猫、犬、熊、羊、豚、鹿、日本でみられるほとんどの動物が出演する。動物だけで人間は一人も出てこない。

しかし、人間が姿をあらわさない画面から強烈に感じられるのは、皮肉なこと人間の手なのである。犬が友人の猫を助けて熊と闘う。犬が猫を助けるために川にとびこむ。猫が尻尾で魚をとる。自然界ならばありえないことが画面では進行する。

見ているうちに段々腹がたってきた。「この映画を製作するのに、何匹の子猫が死んだか知りたい」と発言していた人

のことを思いだし、ますます腹をたてる。腹をたてながら、考えてみる。こんなに腹がたつのは、私が年をとってしまつたからであろうか。子供のころならば、画面に人工的なものは感じず、感動して見入ったのだろうか。

そう思つてまわりを見回す。つきせいの大人は舟を漕いでいる人が多い。隣の女の子がぐずつきだした。「はやく終わればよいのにね」とお母さんに話しかける。始まる前まで「猫さん、かわいいのよ」とはしゃいでいたというのに。結局彼女は最後まで見ずに出ていった。そんな親子づれが4、5組はあった。それを見て、なんとなくほっとする。

女、子どもにも受ける映画はヒットする、という。確かにこの映画はヒットはしたかもしれない。しかし、彼らは決して高い評価はしていないのである。

## 幼児の教育 第八十五巻 第十一号

十一月号 ©

定価四〇〇円

昭和六十一年十月二十五日 印刷  
昭和六十一年十一月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
所フレイベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。